

## 第3回「地域カフォーラム」

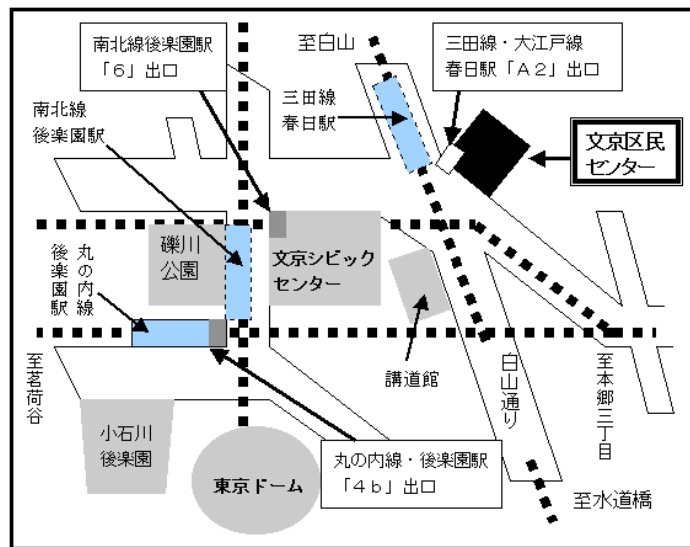
このたびの大震災は、東日本太平洋沿岸の市町村に住む人たちの暮らしの根拠をすべて奪い去りました。そのうえ原発事故は、繁栄をもたらす高度なテクノロジーには危険が伴うものであることを改めて私たちに突きつけました。

第1回、第2回の「地域カフォーラム」においては、現代の日本の閉塞感を打開する鍵を"地域力"に求めた議論を展開しました。第3回となる今回は、大震災からの復興を念頭において、私たちが築いてきた社会はどこで間違っていたのか、エネルギーを無限に費やして成長する社会に潜む脆弱性とは何か、日本人が祈り続けてきた"無事"な暮らしの復権はできるのか、次世代に安心な社会をバトンタッチするために私たちが負う責任とは何かなど、暮らしの原点を問い直すためのフォーラムを開催したいと思います。皆さまのご参加をお待ち申し上げております。

■日時 2011年6月11日(土) 14:00~18:00 (開場 13:30)

■会場 文京区民センター2階 2-A 会議室 (東京都文京区本郷 4-15-14)

最寄駅：地下鉄都営三田線・大江戸線春日駅 徒歩3分



■定員 先着 250 人 (※要事前申込み)

■参加費 一般 2000 円、学生 500 円  
(※懇親会費は別途、一般 2000 円、学生 1000 円)

■主催 農文協、かがり火発行委員会、三人委員会哲学塾、エコプラス

■お問合わせ先 (社) 農山漁村文化協会「季刊地域」・全集グループ  
〒107-8668 東京都港区赤坂 7-6-1  
TEL: 03-3585-1145 FAX: 03-3585-6466

■内 容

- 14:10～ 基調講演 「暮らしの原点を問いなおす」 哲学者・内山節
- 14:50～ 第1部「被災地は今」  
 岩手県住田町長 多田欣一  
 福島県飯館村・農家民宿「どうげ」 佐野ハツノ  
 コーディネーター：農文協「季刊地域」編集長 甲斐良治
- 15:50～ 第2部「都市と地方の関係」  
 宇都宮大学農学部教授 守友裕一  
 山形県金山町・暮らし考房 栗田和則  
 岡山県・NPO 法人かさおか島づくり海社 守屋基範  
 コーディネーター：哲学者 内山節
- 17:10～ 第3部「これからの暮らしへ」  
 群馬県片品村・片品生活塾 桐山三智子  
 新潟県・(財)山の暮らし再生機構 杉崎康太  
 北海道・NPO 法人ねおす 齋藤学  
 コーディネーター：NPO 法人エコプラス事務局長 大前純一
- 18:30～20:30 懇親会（東北地方のお酒等を提供予定・持ち込み歓迎）



■お申込み方法

・締切日：6月6日（月）

- ・ FAX で..... 下記の申込書を FAX でお送りください。捺印後 FAX で返信いたします  
 当日受付に「予約済み」印のある「参加申込書」をご呈示ください  
 FAX：03-3585-6466
- ・ メールで... FAX の項目を下記のアドレス宛にお送りください  
 E-Mail：forum0509@yahoo.co.jp
- ・ ウェブで... 農文協『季刊地域』のホームページに、申込みフォームがございます  
 URL： <http://kikanchiiki.net/>

第3回地域カフォーラム申込書

FAX：03-3585-6466

お名前	<small>複数名の場合には、全員のお名前をご記入ください。</small>		
電話番号		FAX 番号	
ご住所	〒		
Eメール	@		
職業（所属）	一般・学生（どちらかに○をつけてください）		
懇親会	参加・不参加（どちらかに○をつけてください）		